

子ども・子育て応援条例についての中学生ヒアリング記録（中間報告）

〔日程〕 令和4年11月28日～12月6日

〔対象〕 市立中学校（8校）の生徒会役員（2年生または3年生、各校3～5人）

〔手法〕 子ども未来室職員が各校を訪問し、対面でヒアリング（1時間程度）

1.（仮称）子ども・子育て応援条例について

（1）子どもが大切にすることについて

- ・「自主的に行動する」を入れて欲しい。自主性を大切にして、遊びや勉強を頑張っていくことが必要である。
- ・「自らのやりたいことを見つける」があると良い。

（2）保護者の役割について

- ・保護者が子どもに過剰に干渉してくることがある。保護者は子に行き過ぎた干渉をしないといった趣旨のことを入れてほしい。

（3）事業者の役割について

- ・親が週1回定時で帰れる日があると良い。家庭で話ができるようになると思う。

（4）市の役割について

- ・子どものための環境整備を入れて欲しい。（ボール遊びができる公園がない。ボール遊びでルールを決めることにより、社会性を身に着けることができると思う。また、遊具も少ない。）
- ・通学路が安全に通学できるような内容が欲しい。（草が伸びていて側溝に気づかないなど危険がある。街灯が少ないので危険だと感じる。）

2. 大牟田市の子ども・子育て支援事業について

（1）不足している事業等について

- ・子ども医療費助成や児童手当は高校生まで支払って欲しい。高校生になるとさらにお金がかかるため。
- ・ランドセルなど小学生に欠かせないものを買うためのお金を一部補助してもらえると良いと思う。
- ・出産祝いのお祝い金の他、子育て関係のことに使えるクーポンなどがあると良いと思う。
- ・24時間メールや電話で病気の相談対応をしてもらえる機会があると良い。
- ・怪我や病気で保健室から病院に行く場合、親が対応できない時などに同行してくれる人がいると助かる。

(2) 事業の周知について

- ・大牟田市で、こんなにいろいろな事業を行っていることを初めて知った。みんなの理解促進のために、SNSなどを活用し広く周知して欲しい。
- ・資料を親に見せたが、子育ての情報をよく知らなかった。もっと早く知っていればよかったと言っていた。
- ・中学校の授業でも、このような市の子育て支援の取り組みを知る機会を取り入れて欲しい

3. 子どもや子育て世代にとって、よりよいまちになるために

(1) 子育て支援について

- ・大牟田市は高齢者の町という印象がある。授業等でも取り上げるのは高齢者に優しい町であるということ。高齢者だけでなく子ども関係にも力を入れて欲しい。
- ・少子化対策は、将来、子ども達にとって、同年代の子が少ないよりは多い方が良いので重要だと思う。
- ・夜でも子どもを預けられる場所があったら良いと思う。
- ・親・子ども向けタクシーなどがあれば、助かるのではないかな。子育て中の親や子どもが利用しやすいタクシーがあれば良いと思う。
- ・公民館に小さい子が見る絵本をもっと置いたら良いと思う。

(2) 子どもの意見表明等について

- ・市への要望をいつでも言える仕組みがあってほしい。市からQRコード付きのプリントなどを定期的に配布してもらったら、スマホやタブレットで読み込んで意見を伝えたりできる。
- ・大牟田市が「よりよいまちになるために」小中高校生全体の意見を集約できるネットの掲示板があれば良いと思う。良い意見の場合は、見返りとして商品券等を渡せば良いのではないかな？
- ・自分たちの考えを表せる場があると良い。
- ・学生が子育てに限らず市政について、SNSで気軽に自分の意見を書き込める場があれば、意見の把握ができるのではないかな。
- ・子どもが簡単に相談できるチャットなどの窓口が欲しい。TELは恥ずかしくて相談しにくい。

(3) 市からの情報発信について

- ・市のラインを登録している。そこから情報を見るのが良い。広報紙面やHPを見ることはあまりない。
- ・つどいの広場を知らなかった。皆が集まるようにもっと情報を発信したら良いと思う。

(4) 地域での交流等について

- ・コロナの影響で体育会や地域の行事が縮小している。今まで通り楽しみたい。
- ・地域との関わりは地域の運動会くらいしかないが、災害時などは協力しないといけないと思うので、地域で集まれる場所が欲しい。
- ・地域の運動会が開催されていない小学校区もあるため、中学校区単位で開催されればよいと思う。地域の人との交流の場が欲しい。
- ・子どもを地域で見ていくようにすると、子どもや家庭を作ろうと思う人が増えると思う。
- ・近所の人がよく挨拶してくれるし、信号がない横断歩道で車が止まってくれる。そういうのが続いていくと良いと思う。

(5) 世代間の交流等について

- ・年代に関係なく、子どもと高齢者が関わりを持てるように介護施設に訪問に行くなど、高齢者と触れ合えるまちが良い。
- ・70歳くらいの人たちが教えるそろばん教室などがあると良い。やりたい人を募って公民館とかで教えてもらえたら、高齢者も楽しいと思う。
- ・小学生のとき、公民館で高校生から勉強を教えてもらって仲良くなって楽しかった。そういう機会があると良い。
- ・児童館があると良い。小学生から高校生まで交流できる場が欲しい。

(6) 仕事について

- ・仕事があるまちが良い。両親ともに市外に通勤しているので。
- ・子どもが病気のときなど、有休があると良い。弟が風邪で1週間休んだとき、母が有休が4日しかないと言っていた。
- ・母が働いていて、自分は小さいころよく泣いていた。子の年齢によって働く時間を工夫してくれたらうれしい。

(7) 学習施設の整備について

- ・気軽に使える勉強をする場所が欲しい。(えるるは勉強をするためにカードを作って登録をしないといけない。地区公民館や福祉センターは静かに勉強する雰囲気ではない。)
- ・全ての地区から行ける距離の学習等の施設を作って欲しい。

(8) 体育施設や公園の整備について

- ・スポーツができるところが少ないので、無料で借りられる施設などがあれば良い。
- ・屋内で遊べる施設が欲しい。

- ・大牟田はスポーツ宣言都市なので、あまりメジャーじゃないスポーツができるチームや場所がほしい。
- ・スケートボードをやっている友達が多くて自分も興味があるが、このあたりではスケートボードの練習ができるところがないので、あると良いなと思う。
- ・プロの指導が受けられるスポーツ教室などがあったら、意欲が出てくる子ややってみたいという子も増えると思う。
- ・ボールが使えない公園が多いので、野球やサッカーができるような公園があると良い。
- ・バドミントンとかができるような、ある程度広い場所があると良い。
- ・諏訪公園のような公園がもう一つぐらいほしい。
- ・走り回って思いっきり遊べる場所（広い公園等）があったら良い。
- ・中学生が遊ぶ場所がない。公園は低年齢向けの遊具が多いなどで遊びづらい。
- ・小さい子どもが遊ぶ公園を増やして欲しいと思う。
- ・親の希望として、室内で遊ばせる場所（梅雨の時期などは特に）が欲しいとのこと。

(9) 安全について

- ・安全なまちが良い。狭い道など危ないところもあるので。
- ・歩道が狭く、道路がガタガタであるため、整備をして欲しい。
- ・カーブミラーが不足していると思う。死角になる場所もあり、ぶつかりそうになったことがある。
- ・ガードレールがなく、通学中など川に落ちる危険がある。実際に落ちた人もいる。対策をしてほしい。
- ・自転車を通るときに歩道も路側帯もどちらも狭くて怖いことがある。
- ・交通量が多い道路であっても歩道もなく狭くて危険。白い線（路側帯）が消えているところがある。
- ・子どもを安心して学校に送り出せるように、通学路が整備されていてほしい。
- ・街灯を増やして欲しい。公園の遊具をきれいにしてトイレも使いやすくして欲しい。

(10) 公共交通について

- ・交通の便が悪い。市外に出るとき、バスの本数が少ない。
- ・電車はある けどバスがあまりないのが困る。
- ・バスの路線、地名がわからない。乗り方も知らない。

(11) その他

- ・大牟田は若者が楽しめる場所（買い物する場所やゲームセンターなど）が少ない。
- ・公園やお店とかの分かりやすい地図がほしい。グーグルマップとかで見ても、小さくてどこにあるか分かりづらいので、大まかなマップがあれば分かりやすい。
- ・障害者に優しいような歩道の整備などをしてくれたらよい。
- ・空き家を学生が集まって学習できるスペースにできないだろうか。合宿所にするのも良いと思う。自分達が居場所を作り、変えていく事ができたら面白いと思った。大牟田の移住者を増やすためにも、空き家をリフォームして住んでもらう際に補助金を出してはどうかと思った。